

輸血用血液製剤中のエンドトキシンに関する研究	遠藤 重厚	救急医学	7,000	補	厚生労働科学研究費補助金
E Bウイルス感染によるTおよびNK細胞の免疫機能修飾の研究	菅野 祐幸	病理学 I	1,400	委 補	文部科学省科学研究費補助金
慢性傷害ラット肝における肝幹細胞の出現動態とその分裂寿命延長に関する研究	増田 友之	病理学 II	500	委 補	文部科学省科学研究費補助金
MGB技術を用いた造血器腫瘍における微小残存病変定量法の開発	阿保 亜紀子	病理学 II	900	委 補	文部科学省科学研究費補助金
肝星細胞におけるAng II-EGFR-ADAM17シグナル伝達系の解明	及川 浩樹	病理学 II	2,500	委 補	文部科学省科学研究費補助金
肝性脳症の高次脳機能異常の発症機序に関する包括的解析	加藤 章信	内科学 I	1,000	委 補	文部科学省科学研究費補助金
過敏性腸症候群の原因としてのCHRM3およびβ3AR遺伝子多型の研究	千葉 俊美	内科学 I	800	委 補	文部科学省科学研究費補助金
肝性脳症における時計遺伝子の発現動態に関する検討	鈴木 一幸	内科学 I	1,000	委 補	文部科学省科学研究費補助金
新規心血管疾患発症リスクマーカーの有用性の検証	中村 元行	内科学 II	800	委 補	文部科学省科学研究費補助金
喘息気道リモデリングに関与する骨髄由来線維芽細胞の解析と介入的機能調節	山内 広平	内科学 III	1,400	委 補	文部科学省科学研究費補助金
ビーズアレイ法を用いた敗血症における多項目同時サイトカイン・ケモカインの変動解析	小鹿 雅博	外科学	2,500	委 補	文部科学省科学研究費補助金
分子標的治療薬ZD1839を用いた老化誘導療法による食道癌治療戦略の開発	池田 健一郎	外科学	300	委 補	文部科学省科学研究費補助金
臍頭十二指腸切除術後の胃運動の非侵襲的評価—リアルタイムMRイメージの利用—	大森 浩明	外科学	1,500	委 補	文部科学省科学研究費補助金
G2M細胞周期制御遺伝子Chk1を標的とした甲状腺未分化癌の治療戦略の開発研究	小笠原 聡	外科学	1,800	委 補	文部科学省科学研究費補助金
エピジェネティックな発現制御を受けている食道癌原因候補遺伝子の解析	岩谷 岳	外科学	2,200	委 補	文部科学省科学研究費補助金
頸部内頸動脈及び頭蓋内脳血管の狭窄性動脈硬化病変進展抑制に関する研究	岩谷 岳	外科学	2,200	委 補	文部科学省科学研究費補助金
頸部内頸動脈及び頭蓋内脳血管の狭窄性動脈硬化病変進展抑制に関する研究	小川 彰	脳神経外科学	12,800	委 補	文部科学省科学研究費補助金
超高磁場MRIを用いた頸部頸動脈壁の性状評価に関する研究	樫村 博史	脳神経外科学	1,700	委 補	文部科学省科学研究費補助金
頸動脈内膜剥離術後過灌流の発生メカニズムと神経組織に与える影響の解明	小笠原 邦昭	脳神経外科学	1,600	委 補	文部科学省科学研究費補助金
CPR画像による言語野同定法新規開発	西本 英明	脳神経外科学	1,060	委 補	文部科学省科学研究費補助金
脳神経外科医による臨床データマイニングのための手書き入力インターフェイスの開発	藤原 俊朗	脳神経外科学	2,400	委 補	文部科学省科学研究費補助金
髄膜腫におけるゲノム異常と放射線感受性の関連についての研究	荒井 啓史	脳神経外科学	600	委 補	文部科学省科学研究費補助金

NADH蛍光観測システムによる心筋エネルギー代謝の評価：臨床用プロトタイプの開発	福廣 吉晃	外科学Ⅲ	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脊髄圧迫病変の超高磁場MR画像と神経学的所見の対比追跡	嶋村 正	整形外科学	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
膝・脛輔再建後の機能予後向上への試み	西田 淳	整形外科学	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
唇顎口蓋裂患者の精神状態の分析と満足度に対する研究	那須 和佳子	形成外科学	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨トランスポート法による頭蓋骨欠損再建に関する実験的研究	本多 孝之	形成外科学	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心磁図を用いた胎児の自律神経活動の評価	福島 明宗	産婦人科学	1,500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
マウス新生児におけるDNAメチル化からみた成人病胎児期発症説の解明	室月 淳	産婦人科学	2,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
各種人工肺サーファクタントの表面活性・生理活性と成分・超微構造との比較研究	佐々木 美香	小児科学	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
合成ペプチドを用いた合成サーファクタントの開発：生理活性の評価	千田 勝一	小児科学	1,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
造影剤を使用しない新しいMRI撮像法による複雑心奇形の低侵襲的診断	小山 耕太郎	小児科学	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
調節機能を回復させる眼内レンズの開発	黒坂 大次郎	眼科学	1,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
視神経障害後の全視野刺激網膜電図および多局所網膜電図の変化	町田 繁樹	眼科学	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
肝細胞増殖因子の網膜色素上皮に対する保護効果	田中 三知子	眼科学	2,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
角膜上皮構造におけるカルシウム動態を介した細胞内情報伝達	木村 桂	眼科学	1,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
Heat shock proteinを用いた視細胞変性に対する治療法の開発	向井田 泰子	眼科学	3,400	補 委	文部科学省科学研究費補助金
未脱水新鮮皮膚標本の電子顕微鏡観察	森 志朋	皮膚科学	2,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
皮膚悪性腫瘍に対するイシクイモッドの抗腫瘍機序の解明	前田 文彦	皮膚科学	700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
T細胞アポトーシス回避による免疫賦活と癌特異抗原認識による新たな腎癌治療の構築	工藤 大輔	泌尿器科学	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
膀胱癌に対するMVA-Cの術前感受性予測システムの開発および臨床応用に関する研究	藤岡 知昭	泌尿器科学	1,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
ビタミンD-ビタミンD受容体の発現・活性制御による新たな腎癌治療の基礎的研究	小原 航	泌尿器科学	1,300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
マイクロアレイ解析による腎癌予後遺伝子抽出及び関連蛋白解析による新治療戦略の構築	杉村 淳	泌尿器科学	700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
海外在留邦人精神科救急事例の受療経路と転帰に関する広域実態調査	鈴木 満	神経精神科学	5,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金

超高磁場MRIによるメニエール病の画像診断	中里 龍彦	放射線科学	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
骨腫瘍診断に影響する因子の評価と骨腫瘍画像診断のための教育システムの開発	江原 茂	放射線科学	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
MRI神経メラニン画像を用いたドパミン、ノルアドレナリン神経核の機能形態解析	佐々木 真理	放射線科学	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
MRIとCTによるAdamkiewicz動脈の診断法の開発	吉岡 邦浩	放射線科学	700	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心磁計による薬物誘発QT延長と関連する遺伝子一塩基多型の解析法の開発	中居 賢司	臨床検査医学	2,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
敗血症における免疫制御性メディエーターの解明	佐藤 信博	救急医学	1,800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
脳血管痙攣における血管平滑筋細胞の転写機構、及び転写調節による治療効果の解析	吉田 研二	高度救命救急センター	3,000	補 委	文部科学省科学研究費補助金
糖質溶液による口腔洗浄が経鼻管挿入患者の口臭に及ぼす影響	岸 光男	予防歯科学	900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔状態に基づく脳血管障害評価スケールの開発	稲葉 大輔	予防歯科学	800	補 委	文部科学省科学研究費補助金
新しい再石灰化促進機能素材「リン酸化オリゴ糖カルシウム」の歯科臨床応用	稲葉 大輔	予防歯科学	2,600	補 委	文部科学省科学研究費補助金
妊産婦とその出生児間でのう蝕病原性菌の母子伝播に関する研究	浅川 麻美	小児歯科学	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
放射線治療効果とFDG集積に関連するGluT-1およびHIF-1発現について	高橋 徳明	歯科放射線学	1,100	補 委	文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のPETにおけるF-18 Cholineの核医学的評価	小豆島 正典	歯科放射線学	1,900	補 委	文部科学省科学研究費補助金
リドファインの2相性変化における細胞内カルシウムイオン動態の検討	佐藤 健一	歯科麻酔学	500	補 委	文部科学省科学研究費補助金
心電図RR間隔変動の解析における歯科治療時の自律神経活動の研究	菊池 和子	歯科麻酔学	300	補 委	文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドローム及び動脈硬化症における炎症性サイトカイン遺伝子の役割の解析	佐藤 譲	糖尿病代謝内科学	千円 1,000	補 委	岩手県保険医療研究費補助金
糖尿病予防のための戦略研究課題3：J-D01T3	佐藤 譲	糖尿病代謝内科学	3,000	補 委	国際協力医学研究振興財団
心臓・血管截身グリニックによる一般住民を対象とした循環器疾患コホート研究	中村 元行	内科学II	2,000	補 委	公益信託日本動脈硬化予防研究基金
超急性期脳梗塞治療法の確立に関する多施設共同ランダム化比較試験	小川 彰	脳神経外科学	13,600	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患等生活習慣病 対策総合研究事業)
超急性期脳梗塞治療法の確立に関する多施設共同ランダム化比較試験 (若手医師・協力者活用に要する研究)	小川 彰	脳神経外科学	13,288	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (臨床研究基盤整備推進研究事業 (若手医師・協力者活用に要する研究))
内頸動脈閉鎖症にともなう血行力学的脳梗塞の発症予防に関する研究	小川 彰	脳神経外科学	1,800	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患等生活習慣病対策 総合研究事業)
高次脳機能を温存する転移性脳腫瘍の治療法確立に関する研究	小川 彰	脳神経外科学	700	補 委	厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)

悪性脳腫瘍の標準的治療法の確立に関する研究	別府 高明	脳神経外科学	1,000	補 委 厚生労働科学研究費補助金 (がん臨床研究事業)
急性期脳梗塞におけるCT, MRI検査の標準化に関する研究	小川 彰	脳神経外科学	1,500	補 委 循環器病研究委託費
脳梗塞に対する予防的外科治療の効果の科学的評価と治療リスク軽減に関する研究	小川 彰	脳神経外科学	1,000	補 委 美原賞 (公益信託美原脳血管障害 研究振興基金)
腱・腱鞘再建後の機能予防向上への試み	西田 敦	整形外科学	900	補 委 文部省科学研究費補助金
脳室周囲白質軟化症の急性期脳MRIと学童期予後との比較	赤坂 真奈美	小児科学	500	補 委 平成18年度森永奉仕会研究奨励金
「ラゲチンの安全性向上のための品質確保の方策に関する研究」(主任、竹中浩治) 班員	千田 勝一	小児科学	50	補 委 平成18年度厚生労働省医薬品・ 医療機器等レギュラトリー・サイエンス 総合研究事業
新生児血液浄化療法の標準化に向けた安全性の検討	千田 勝一	小児科学	1,150	補 委 平成17年度岩手県地域医療 研究事業
急性感音難聴の病態に関する研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学	1,750	補 委 岩手県保険医療研究費補助金
急性高度難聴に関する調査研究	佐藤 宏昭	耳鼻咽喉科学	1,100	補 委 厚生労働科学研究補助金 (難治性疾患克服研究事業)
がん心療ガイドラインの適用と評価に関する研究	藤岡 知昭	泌尿器科学	1,500	補 委 厚生労働科学研究費補助金
自殺対策のための戦略研究「複合的自殺対策プログラムの自殺企図予防効果に関する地域介入研究」	酒井 明夫	精神科学	10,750	補 委 厚生労働省科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)
自殺対策のための戦略研究「自殺企図の再発防止に対する複合的ケース・マネジメントの効果：多施設共同による無作為化比較研究」	酒井 明夫	精神科学	8,600	補 委 厚生労働省科学研究費補助金 (こころの健康科学研究事業)
高齢者の心の健康と自殺予防に関する広域にわたる包括的事業	酒井 明夫	精神科学	2,000	補 委 (財)岩手県長寿社会振興財団 (高齢者保健福祉基金助成金)
自死遺族への支援体制の構築を目的とした心理学的剖検に関する調査・研究及びかかりつけ医等医療関係者研修会開催事業	酒井 明夫	精神科学	6,590	補 委 岩手県
急性脳梗塞におけるCT, MRI検査の標準化に関する研究	佐々木 真理	放射線科学	23,900	補 委 厚生労働省循環器病研究委託費 17公-3(佐々木班)
超急性脳梗塞治療法の確立に関する多施設共同ランダム化比較試験	佐々木 真理	放射線科学	800	補 委 厚生労働科学研究費補助金 (小川班)
正常圧水頭症と関連疾患の病因・病態と治療に関する研究H16-心筋04	佐々木 真理	放射線科学	700	補 委 厚生労働科学研究費補助金 H17-難治17(湯浅班)
脳梗塞におけるMRI検査の標準化に関する研究	佐々木 真理	放射線科学	1,000	補 委 日本磁気共鳴医学会標準化 プロジェクト補助金(佐々木班)
脳ドックにおけるMRIの標準化に関する研究	佐々木 真理	放射線科学	200	補 委 日本放射線科専門医会・医会 マーケティンググループ補助金(佐々木班)
放射線感受性マイグロブセルによる薬剤標的療法	原田 聡	放射線科学	3,000	補 委 東京大学学術開放センター
内シャント狭窄治療を目的としたナノセラミックス複合化ステントグラフトの開発	古籬 勉 (田中良一分担)	放射線科学	27,000	補 委 厚生労働省 健康局 生活習慣病対策室
局所療法適応外の肝細胞がんに対する経動脈的治療法標準化の研究	曾根 美雪	放射線科学	1,000	補 委 厚生労働省がん研究助成金 (荒井班)

「高分解能心電解析装置の開発」	中居 賢司	臨床検査医学	5,848	補 夢県土いわて戦略的研究推進事業 委 (岩手県)
混合性結合組織病の病態解明と治療法の確立に関する研究	澤井 高志	病理学 I	2,000	補 厚生労働省難治性疾患克服 委 研究事業 (三森班)
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	澤井 高志	病理学 I	1,800	補 厚生労働省がん臨床研究事業 委 (松野班)
関節リウマチ・骨粗鬆症の重症化防止治療開発研究	宇月 美和	病理学 I	3,000	補 厚生労働省免疫アレルギー疾患 委 予防・治療研究事業 (越智班)
・ヒト血管炎におけるEBウイルスの関与・膠原病に合併する肺高血圧症 (PH) における肺血管内皮細胞傷害に 県内診療所等の医療スタッフへの専門医療支援	澤井 高志	病理学 I	1,750	補 先端医療研究センター
薬剤や環境因子によるDNA損傷と細胞動態との関係の解明	澤井 高志	病理学 I	1,100	補 岩手県地域医療研究費助成 委
薬剤や環境因子によるDNA損傷と細胞動態との関係の解明	黒瀬 顕	病理学 I	1,710	補 私学振興事業団学術研究高度化 委 推進経費 (共同研究経費)
尋常性乾癬における表皮増殖因子の発現及びサイトカインとの共同作用の検討	吉田 亜希 (第一病理大学院生)	病理学 I	125	補 私学振興事業団大学院整備 委 重点化経費-研究科特別経費
医療用テラヘルツ光診断システムの開発 (テラヘルツ光波の病理組織解析への応用)	澤井 高志	病理学 I	3,500	補 文部科学省科学技術試験研究費 委
肝不全患者の分子標的治療法の開発研究	増田 友之	病理学 II	9,587	補 日本私立学校振興共済事業団 委
バーチャルスライドを用いた遠隔病理診断	中村 眞一	臨床病理学	1,100	補 岩手県地域医療研究費補助金 委
Crypt FISH 二原管分離材料を用いたFISH法による染色体異常の解析	上杉 憲幸	臨床病理学	1,000	補 文部省科学研究費補助金 委
顎関節症患者に対するストレスマネージメントシステムの臨床応用	石橋 寛二	歯科補綴学 II	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委 基盤研究 (B)
表面処理を施したチタンインジウム表面膜上における骨芽細胞の遺伝子発現解析	武部 純	歯科補綴学 II	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委 基盤研究 (B)
PET用腫瘍トレーサーである 18F-Choline の細胞周期に依存した集積	小豆島 正典	歯科放射線科学	1,132	補 日本私立大学校振興共済事業団 委 特別補助
新しいPET用腫瘍トレーサーの開発と臨床応用	小豆島 正典	歯科放射線科学	3,003	補 H18年度夢県土いわて戦略的 委 研究推進事業
口腔ケアが介護家族のQOLに及ぼす効果に関する総合的研究	米満 正美	予防歯科学	4,000	補 文部科学省研究費補助金 委

計148件

1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該保険医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者指名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合には「補」に、委託の場合には「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hepato Res. 34(2): 117-123 (2006)	Fasting plasma ghrelin levels reflect malnutrition state in patients with liver cirrhosis	Takahashi H	内科学第一
Dig Dis Sci. 51(2): 359-364 (2006)	Prediction of hepatic encephalopathy development in patients with severe acute hepatitis.	Takikawa Y	内科学第一
J Gastroenterol Hepatol. 21: 374-380 (2006)	Ratio of circulating follistatin and activin A reflects the severity of acute liver injury and prognosis in patients with acute liver failure.	Lin SD	内科学第一
J Iwate Med Assoc. 58(4):315-325 (2006)	Changes in gastrointestinal motility of amyloidosis patients without severe gastrointestinal symptoms; difference between AA type and AL type amyloidosis.	Tokunaga Y	内科学第一
Tohoku J. Exp. Med. 211:251-258,2007	Association of TNF- α gene promoter C-857T polymorphism with higher serum LDL cholesterol levels and carotid plaque formation in Japanese patients with type 2 diabetes.	J. Satoh	糖尿病代謝 内科学
BLOOD 109 (5):1923-1929, 2007	Mad2 associates with c-Kit in MO7e cells	Shigeki Ito,	血液内科学
Circ J. 2007 Apr;71(4):455-9.	A community based epidemiological and clinical study of hospitalization of patients with congestive heart failure in Northern Iwate, Japan.	Nakamura M et al.	内科学第二
Int Heart J. 2006 Nov;47(6):867-76.	Association of decreased variation of R-R interval and elevated serum C-reactive protein level in a general population in Japan.	Nakamura M et al.	内科学第二
Am Heart J. 2007 Sep;154(3):581-8.	Association between toll-like receptor 8 expression and adverse clinical outcomes in patients with enterovirus-associated dilated cardiomyopathy.	Satoh M et al.	内科学第二
J Card Fail. 2007 Mar;13(2):114-9	A novel activator of C-C chemokine, FROUNT, is expressed with C-C chemokine receptor 2 and its ligand in failing human heart.	Satoh M et al.	内科学第二
Eur J Heart Fail. 2006 Dec;8(8):810-5.	Elevated circulating levels of heat shock protein 70 are related to systemic inflammatory reaction through monocyte Toll signal in patients with heart failure after acute myocardial infarction.	Satoh M et al.	内科学第二
Japanese Journal of Public Health. 52: 962- 970. (2006)	Knowledge of smoking-related risks and opinions on tobacco control by smoking status and education level in JAPAN.	Inoue, H.	内科学第三
J Pharmacol Sci. 101(1):24-30. (2006)	Recent advances in molecular pharmacology of the histamine systems: organic cation transporters as a histamine transporter and histamine metabolism.	Yamauchi K.	内科学第三
Tohoku J Exp. 209:75-86. (2006)	Airway Remodeling in Asthma and its Influence on Clinical Pathophysiology.	Yamauchi, K.	内科学第三
アレルギー・免疫 4: 74-80 (2006)	成人気管支喘息における感作アレルゲンの全国調査	井上 洋西	内科学第三
日本呼吸器学会雑誌 2006;44:916-922	日本人の若年者(10歳から20歳)の呼吸機能検査の基準値	井上 洋西	内科学第三
日本呼吸器学会雑誌 4: 312-318 (2006)	わが国における呼吸器内科医師の実態に関する調査報告	井上 洋西	内科学第三
呼吸 12:1093-1094 (2006)	研究の周辺から-早期肺病変検出装置の開発をめぐって-	井上 洋西	内科学第三
アレルギー 55: 820-826 (2006)	好中球エラスターゼによる気道傷害に対するストレス誘導蛋白の抑制効果	山内 広平	内科学第三
アレルギー・免疫 2006;13:246-252	高齢者喘息の肺機能とQOLを考慮に入れた吸入ステロイド療法	山内 広平	内科学第三
アレルギー科 2006;21:575-581	喘息気道リモデリングの臨床病態	山内 広平	内科学第三

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
アレルギー 6; 641-646. (2006)	気管支喘息における胃食道逆流(GER)とプロトンポンプ阻害薬による治療の影響	小林 仁	内科学第三
日本呼吸管理学会誌 4: 551-556 15.(2006)	睡眠呼吸障害における血漿Orexin-A濃度測定の意義	櫻井 滋	内科学第三
Progress in medicine 11: 45-48 (2006)	睡眠呼吸障害の鑑別診断	櫻井 滋	内科学第三
アレルギー科 3:21(235)-218(239). (2006)	Decoy ODN による気管支喘息治療の可能性	中村 豊	内科学第三
日本心療内科学会誌 10(4) :225-229.2006.	呼吸調節機構からみたパニック傷害と過換気症候群	鈴木 順	内科学第三
呼吸と循環 8: 881-885. (2006)	睡眠時無呼吸症候群と脳血管障害	高橋 進	内科学第三
呼吸 2: 137-144. (2006)	Chug Strauss症候群	佐々木 信人	内科学第三
Eur. J. Neurol. 13: 346-350. (2006)	Cabergoline scavenges peroxynitrite enhanced by L-DOPA therapy in patients with Parkinson's disease.	Isobe C Abe T Kikuchi T Murata T Sato C Terayama Y	神経内科学
Int. J. Stroke. 1:14(2006)	Evaluation of carotid plaque using Three-Dimensional(3D) ultrasonography.	Ohba. H Kin. M Ishibashi. Y Terayama. Y Kobayasi. M Inoue. T Ogasawara. K Ogawa. A Hitomi. J Shigemasa. M	神経内科学
Int. J. Stroke. 1:140(2006)	Calcification of intracranial arteries-detection and evaluation using multi-detector row CT(MDCT).	Kin. M Ohba. H Ishibashi. Y Mizuno. M Sasaki. M Terayama. Y	神経内科学
神経治療学 23:515-519(2006)	多発性硬化症患者へのinterferonβの外来, 短期入院での導入	深浦 彦彰 高橋 智 西城 健 寺山 靖夫	神経内科学
治療学 40: 335-338(2006)	ラクナ梗塞後の高用量アスピリン投与により脳出血が疑われた症例	寺山 靖夫	神経内科学
脳卒中 28:125(2006)	重症クモ膜下出血の手術適応と予後に関わる因子の定量的検討	高橋智 石橋靖宏 寺山靖夫 東北脳血管障害研究会共同調査グループ	神経内科学
Journal of Cerebral Blood Flow & Metabolism. 26(7) :874-884(2006)	Cerebral hyperperfusion after carotid endarterectomy is associated with preoperative hemodynamic impairment and intraoperative cerebral ischemia.	Komoribayashi, N.	脳神経外科学
Surgical Neurology. 65(6) :577-581(2006)	Cognitive impairment associated with intraoperative and postoperative hypoperfusion without neurologic deficits in a patient undergoing carotid endarterectomy.	Ogasawara, K.	脳神経外科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Surgical Neurology. 65(6):621-624(2006)	Treatment of ruptured fusiform aneurysm in the posterior cerebral artery with posterior cerebral artery-superior cerebellar artery anastomosis combined with parent artery occlusion : case report.	Saito, H.	脳神経外科学
J Neurol Neurosurg Psychiatry : Online First. 77 :1345-1349(2006)	Differences in circadian variation of cerebral infarction, intracerebral haemorrhage and subarachnoid haemorrhage by situation at onset.	Omama, S.	脳神経外科学
Clinical Neurology and Neurosurgery. 108(7):655-660(2006)	Alleviation of intracranial air using carbon dioxide gas during intraventricular tumor resection.	Beppu, T.	脳神経外科学
Journal of Neurosurgery. 105(5) : 713-716(2006)	Reliability of cobalt-chromium alloy aneurysm clips after long-term implantations in patients with cerebral aneurysms.	Otawara, Y.	脳神経外科学
Journal of Neurosurgery. 105(5) :781-784(2006)	Treatment of vertebral artery aneurysms with transposition of the posterior inferior cerebellar artery to the vertebral artery combined with parent artery occlusion.	Ogasawara, K.	脳神経外科学
Journal of Neurosurgery. 105(5) :785-787(2006)	Wrap-clipping with polytetrafluoroethylene for ruptured blisterlike aneurysms of the internal carotid artery.	Kubo, Y.	脳神経外科学
Clinical Neurology and Neurosurgery. 109(1): 106-110(2007)	Diffusion tensor imaging for differentiation of recurrent brain tumor and radiation necrosis after radiotherapy - Three case reports	Kashimura, H.	脳神経外科学
Surgical Neurology. 67(2): 156-159(2007)	Three-dimensional anisotropy contrast imaging of pontine gliomas: 2 case reports.	Kashimura, H.	脳神経外科学
胸部外科 58 : 729-733, 2005	高齢者の肺癌-肺機能からみた肺癌-	谷田 達男	呼吸器外科学
胸部外科 59 : 89-94, 2006	肺葉切除別に見た呼吸機能の変化	野中 誠 他 9名と共著	呼吸器外科学
癌の臨床 51 : 663-667, 2005	肺癌手術におけるテレパソロジーを利用した迅速診断とその経済効果	谷田 達男 他 2名と共著	呼吸器外科学
Osteoarthritis and Cartilage. 14巻5号.435-441.2006	Downregulation of inhibitor of apoptosis proteins in apoptotic human chondrocytes treated with tumor necrosis factor-alpha and actinomycin D	Fumitaka Yoshimura	整形外科
Rheumatology International. 26巻.749-751.2006	Possible association of the X-ray cross complementing gene 1(XRCC1)Arg280His polymorphism as a risk for rheumatoid arthritis.	Akiko Koyama	整形外科
Clinical Biomechanics. 21巻.810-815.2006	Effect of hyaluronic acid on the excursion resistance of tendon graft:A biomechanical in vitro study in a modified human model	Toshiki Akasaka	整形外科
Spine. 31巻9号.967-971.2006	A biomechanical assessment of infra-laminar hooks as an alternative to supra-laminar hooks in thoracolumbar fixation.	Hideki Murakami	整形外科
Clinical Orthopaedics and Related Research. 447巻.145-151.2006.	Vascularized Iliac Bone Graft for Iliosacral Bone Defect after Tumor Excision.	Jun Nishida	整形外科
Journal of Biomechanics. 38巻.503-507.2005	Hyaluronic acid diminishes the resistance to excursion after flexor tendon repair:An in vitro biomechanical study.	Toshiki Akasaka	整形外科
Osteoarthritis and Cartilage. 13巻2号.154-161.2005	Changes in microstructure and gene expression of articular chondrocytes cultured in a tube under mechanical stress.	Syuitsu Maeda	整形外科
形成外科 49 (7) 763-768, 2006	双葉皮弁を工夫した外鼻部分欠損の再建	本多 孝之	形成外科学
形成外科 49 (11) 1203-1209, 2006	頬骨骨折親血的整復術への内視鏡を補助としたアプローチ	樋口 浩文	形成外科学
Journal of Pediatrics 148:399-400(2006)	Cerebral infarction after high-dose intravenous immunoglobulin therapy for Kawasaki disease.	Wada Y Kamei A Fuji Y Ishikawa K Chida S	小児科学